

名称:学校法人 開智学園 開智国際日本語学校

所在地:〒193-0931 東京都八王子市台町4-44-13 パレドール西八王子2階

Tel:042-673-6802 / Fax:042-673-6803

Mail:nihongo@kaichigakuen.ed.jp

定員数:100名

最寄り駅:JR中央線 西八王子駅より徒歩3分

備考:法務省東京出入国在留管理庁取次申請校告示校

法務省東京出入国在留管理庁認定適正校

公益財団法人入管協会会員



留学生寮:本学上階(3階)に留学生専用の寮があります。キッチン、トイレ、ユニットバス、冷蔵庫、エアコン完備です。共有で洗濯機と乾燥機が使えます。

部屋代:18,000~32,000円/月

光熱費:9,000~12,000円/月



学校法人 開智学園 開智国際日本語学校

Kaichi International School of Japanese



School Guidebook



コースの概要と学費

初級クラスでは、メインテキスト『できる日本語』を使用して、「読む・聞く・話す・書く」の四技能を伸ばすと同時に、日本語能力試験対策や多読授業も行います。中・上級クラスでは、リサーチプロジェクト・発音指導・漢字強化・アカデミックジャパニーズ・異文化理解など、学生の興味や要望に合わせた授業が選択できます。



【1年コース】

N3レベルスタート
学費合計765,000円
入学4月／卒業3月

【1.5年コース】

N4レベルスタート
学費合計1,115,000円
入学10月／卒業3月

【2年コース】

N5レベルスタート
学費合計1,465,000円
入学4月／卒業3月

グループ大学への推薦特典

学校法人開智学園の併設校である開智国際大学（千葉県柏市）への推薦制度があります。日本語能力、日本語学校の出席率など一定の条件を満たした場合に限り、推薦が認められます。



卒業生の声

2019年度卒業（1期生）／2年コース
NOMIN ERDENEさん（モンゴル）



少人数で学べる環境なので、みんなとすぐ仲良くなれました。先生は一人一人に毎日声をかけて、学生の変化にすぐ気がついてくださいます。色々な国の友達ができただけでいい思い出です。

2022年度卒業（5期生）／1年コース
THAN THAN SOEさん（ミャンマー）



先生はとても親切で、日本語だけでなく、日本の生活文化や社会事情を教えてくださいました。私の将来についても一緒に考えてくださり、安心して学校生活を送ることができました。

指導方針

開智国際日本語学校は、入学者が日本の高等教育機関に進学できる日本語能力を育成すると共に、日本人・日本文化・日本社会を理解し、地域社会で日本人との共生を実現する力の養成を目指します。

日本語の四技能の知識と実践力をバランスよく高めます。そして、学校内外で日本人や日本社会・文化に触れる機会を提供します。交流活動や文化体験を通して、日本への理解を深めつつ、コミュニケーション能力を養います。

各試験に特化した対策授業をレベル別に行い、テストストラテジーも指導します。さらに、学生の進路に合わせて、全体・個別の進路指導を行い、将来設計とその実現をサポートします。

学生が主体的かつ対話的に学べるように支援し、実践力を養います。1年に2回の学期末に、学びの成果を披露する意見発表会を行います。

バランス
の取れた
四技能

主体的な
学びの力

JLPT/EJU
対策

学校法人
開智学園

開智国際
日本語学校

日本を学び、 自分の未来を ひらく新しい生活



アットホームな環境で学べる

各レベルの日本語運用能力の目安と到達目標

初級 1 / 初級 2

【初級1】教室やアルバイト先などの日常生活において、短い文で直接的な言語活動ができます。

【初級2】身近な話題に関して、基本的な語彙や文型を使って少し長い文で言語活動ができます。

【到達目標】日本語能力試験N4合格

中級 1 / 中級 2

【中級1】日本の生活で日々遭遇する日常的な場面で、自由に言語活動を続けることができます。

【中級2】一般的な話題に関して、場面や相手に応じた適切な言語活動ができます。

【到達目標】日本語能力試験N3合格

上級 1 / 上級 2

【上級1】広範囲な話題に対応ができ、複雑で抽象的な表現を用いて言語活動ができます。

【上級2】全ての話題や技能にわたり、日本語母語話者に近いもしくは同等の言語活動ができます。

【到達目標】日本語能力試験N2 / N1合格





教育の特徴

1 言語知識の獲得と言語運用能力の向上

言語知識の獲得と言語運用能力の向上を目指します。語彙、漢字、文法をくり返し学習し、小まめにテストを行うことで、言語知識の理解と定着を図ります。また、コミュニケーションのための聴解、会話、読解、作文、発表などの活動を通じて、言語運用能力を習得します。

2 ICT活用による学びの提供

教育・学習におけるICTの活用に力を入れています。動画教材やアプリを使って、反転授業や自宅学習を促します。そして、SNSツールを利用し、遠隔セッションやチャットで交流活動を行い、異文化間コミュニケーション能力を高めます。

3 評価力の育成

評価を重視しています。自己評価、学生同士の他者評価、教師からの評価をうまく組み合わせて、今の自分の言語能力を把握し、学習の振り返りと目標設定を行います。学習の成果と教育課程を可視化するため、ポートフォリオを作成します。

4 自律的学習者の養成

自律的に学ぶ学習者の養成に努めています。多読、多聴、多観、多話、多書活動を通じて、楽しく自ら学ぶ姿勢と習慣を身につけます。長期休みの時期には、JLPT対策講座を開講し、仲間と一緒に勉強する学びのコミュニティ作りを進めています。